

第2章 先行事例

国内11大学、英国5大学の先行事例について、特徴的な整備内容や運営方法、整備による効果等について、大学ごとに紹介する。

			掲載 ページ	設置 年度	整備手法	設置場所	学修スペースの 主な利用用途
国内事例	1 小樽商科大学	3号館・5号館 アクティブラーニング（AL）教室	5	2013	改修	講義棟	授業
	2 埼玉大学	図書館（1号館、2号館、図書館ラーニングコモンズ）	7	2015	増築・改修	図書館	授業外
	3 千葉大学	アカデミック・リンク	9	2011	増築・改修	図書館	授業外
	4 東京工業大学	東工大レクチャーシアター	11	2015	改修	講義棟	授業
	5 九州工業大学	インタラクティブ学習棟 MILAiS	13	2011	新築	講義棟	授業・授業外
	6 国際教養大学	能動的学修支援センター	15	2013	改修	図書館棟	授業外
	7 立教大学	メーザー・ラーニング・コモンズ	17	2014	改修	図書館	授業外
	8 明治学院大学	横浜校舎図書館	19	2015	改修	図書館	授業外
	9 中部大学	不言実行館 ACTIVE PLAZA 「コモンズセンター」	21	2015	新築	学生支援センター棟	授業外
	10 同志社大学	良心館 「ラーニング・コモンズ」	23	2013	新築	複合施設	授業・授業外
	11 立命館大学	大阪いばらきキャンパス（OIC）	25	2015	新築	キャンパス全体	授業・授業外
海外事例	12 University College London	Cruciform Hub	27	2014	改修	複合施設	授業外
	13 King's College London	Somerset House East Wing Learning Centre	29	2015	改修	文化施設	授業外
	14 University of Warwick	Learning Grid/The Wolfson Research Exchange /Teaching Grid	31	2005-2013	新築・改修	図書館・複合施設	授業外
	15 University of Manchester	The Alan Gilbert Learning Commons	33	2012	増築・改修	図書館	授業外
	16 University of Sheffield	The Diamond	35	2015	新築	複合施設	授業・授業外

整備手法、設置場所、主な利用用途

整備手法（新築、増築、改修）、設置場所（講義棟、図書館以外は「その他」）、調査した学修スペースの主な利用用途（授業、授業外）を示しています。

整備による効果

整備の結果どのような効果が現れているか、写真やグラフ等とともに示しています。

千葉大学
「見る」「見られる」「見せる」をキーワード
とした「考える学生」を育成する場の創出

西千葉キャンパス アカデミック・リンク



「ポイント」
「見る」「見られる」「見せる」を意識した整備

相互刺激を生む開放的な空間整備

- 自由な活動を促す間仕切りのない大空間を整備。
- 声は聞こえないが活動の様子が室外から「見る」「見られる」ことが刺激になるよう、グループ学習室はガラスで間仕切り。
- 多様な学習スタイルに対応するため、グループ活動エリアのすぐそばに個別学習空間を配置。
- 4つの様ごとの段差が生じないように改修。

様々なかたちの資料や情報を提供

- ブックリーは「見せる」本棚としてテーマに沿って図書を配置。
- 授業の参考図書、webサイトを案内する「授業資料ナビゲーション」の提供。

充実した人的サポートの提供

- 図書館員による調べもの相談の対応。
- 教員による授業、大学生活全般に対する相談の対応。
- 40名程度の学生が ALSA (Academic Link Student Assistant) として運営サポート、学習支援を実施。

11

整備による効果

学習時間の増加
(3時間以上)が4.4ポイント増
一方、「全くない」が8.2ポイント減

- 学部学生の図書館滞在時間、学修時間が増加。

学習行動の変化

- 学生が多様な環境の中から好みの場所を選択して学習している。思考の共有により理解が深まった、共同学習が進捗して良かった、議論の活性化、議論に集中できる等、多様な学習行動の変化がみられている。

学生の満足度の変化
(考える力が十分ある程度身について)が7.1ポイント増
(ハード面に対して「満足」が21.4ポイント増)

- 自身の学びに対する自己評価（考える力、情報収集・処理能力等）が向上。
- 図書館に対するハード面に対する満足度が大幅に向上。

年	3時間以上	2時間以上	1時間以上	全くない
2012	31.7%	35.3%	31.7%	19.3%
2009	27.3%	31.9%	31.6%	22.8%

年	十分ある程度身について	少しある程度身について	少しも身についていない	全くない
2012	24.1%	35.4%	35.4%	4.9%
2009	17.0%	34.6%	34.6%	13.8%

年	満足	やや満足	やや不満	不満
2012	69.4%	41.2%	11.8%	17.6%
2009	37.0%	49.6%	13.9%	19.5%

12

ポイント

各大学の施設や什器・ICT 機器等の整備内容や、運営方法について、特徴的な内容について、写真や図とともに示しています。